

株式会社 大喜商会

グローバルなものづくり 体制で帽子の可能性を追求

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン見積
- 試作可小ロット
- 量産対応



OEMなどで多様な帽子を手がける

主な事業内容

各種帽子・小物の企画・開発、製造卸、カットソー衣料の製造卸

主な取引先(納入先)

大手スポーツメーカー、アウトドアアパレルメーカー

主な製品

スポーツ用、アウトドアスポーツ用のキャップ/ハット

業務内容 スポーツアパレル用 帽子を提供

大喜商会は、野球やゴルフ、スキー、アウトドア分野を中心に、スポーツアパレル用の帽子をOEM/ODM(相手先ブランド生産/設計・生産)事業で手がける。取引先は大手のスポーツメーカーやアウトドアメーカーなど約15社ある。昭和10年に一般帽子の製造業として創業し、戦後は野球用キャップなどの生産で事業基盤を構築。平成元年には、新たな可能性を追求すべくインドネシア工場を立ち上げた。同工場は金川博一会長が社長時代から陣頭指揮をとり、生産を軌道に乗せて従業員700人強の主力拠点に成長。現在は中国の協力工場と大阪本社の試作拠点と合わせ、小ロット品から量産品までカバーする。

強み インドネシア工場で 適正価格の製品を供給

複数の大手メーカーの帽子生産を請け負う中で、幅広い素材や縫製、刺繍加工、プリント技術のノウハウを蓄積する。同社の技術力を体現するインドネシア工場の存在は大きい。帽子で年間100万枚の生産能力と、チーム単位で量産と1枚から対応できるスベ

社長あいさつ



代表取締役社長
やすなり
金川 泰斉さん

帽子は暑さや寒さから頭を守るといった機能的ニーズに加え、おしゃれのアイテムにもなります。創造力を発揮すれば、まだまだ多くの用途が提案できると思います。帽子作りを通じて、経営理念「真の豊かさの追求」を従業員とめざしていきます。

主な保有設備

- 本縫いミシン JUKI製、ブラザー製 425台
- シームシーリング機 H&H製、NAWON製 5台
- CAD、CAM裁断機 川上製作所製 1台
- 刺繍ミシン タジマ製、バルダン製 6台
- 横編み機 島精機製 3台
- 超音波ミシン(無縫製ミシン) NAWON製 2台

大阪 03

住 所 / 〒544-0001
大阪市生野区
新今里3-18-19

T E L / 06-6751-1561

F A X / 06-6751-1565

創 業 / 昭和10年

設 立 / 昭和47年9月

資本金 / 2,400万円

従業員 / 22名

**新規事業 帽子研究課で
新用途を探る**

新規事業に取り組みべく、令和2年6月に帽子研究課を立ち上げた。国内の帽子市場で雑貨メーカーが低価格品を作る傾向に対し、同社は専業メーカーとして、帽子の魅力を改めて突き詰め、新しい用途提案も行うことが狙いだ。帽子の自社ブランドとして「風で飛ばない帽子「キャタップ」を立ち上げ、商品化。プロのスケートボーダーに同帽子を供給し、動画投稿サイトで紹介してもらうPR活動も行う。また、パーツを組み合わせ立体的な帽子を作る知育玩具や、インドネシアの天然草を原料に光触媒加工を施した消臭作用の帽子置きなどインドネシア商品にも挑戦している。

シャルオーダーの柔軟な生産体制を整え、適正価格で高品質の製品供給を実現する。また、厳しい基準を持つ高機能なレインウェア工場にもなっている。令和元年度には「当社のインドネシア工場が、世界で一番ゴアテックス素材を使った帽子の生産を行った」と金川泰斉社長は胸を張る。



独自ブランド「キャタップ」を展開



インドネシア工場の現場



<https://www.daiki-k.co.jp/>